

委託業務成績評定表（建築・設備）

平成 年 月 日

事務所名： 建設事務所

グループ参事 建設事務所長		起工番号	
		契約番号	
業 務 名			
契 約 全 額	当初：		最終：
履 行 期 間	当初：平成 年 月 日～ 年 月 日		最終：平成 年 月 日～ 年 月 日
完 了 年 月 日	平成 年 月 日		
完了検査年月日	平成 年 月 日		
契約相手方住所氏名			
管理技術者氏名			
担当主任技術者氏名	意匠： 、構造： 、積算： 電気設備： 、機械設備：		
第1評定者職・氏名			
	印		
	印		
第2評定者職・氏名			
	印		
第3評定者職・氏名			
	印		
第1、第2評定者の評定点			65 点
第3評定者の評定点			65 点
第1、第2評定者と第3評定者との 総計 = × + ×			65 点
事故等による減点			0 点
瑕疵修補又は損害賠償による減点			0 点
総合評定点 = - -			65 点
(注) a=0.6 =0.4			

* 調査・検査の対象を設計業務等の分野等により分割して調査・検査を行ったときは、それぞれの評定者が担当した分野等名を記載した内訳書を添付すること。

集計表（その1：項目別集計）

業務名	平成 年度 庁舎設計業務
受注者名	(株) 設計
評定点	65 (事故等による減点 点 / 瑕疵修補又は損害賠償による減点 点)

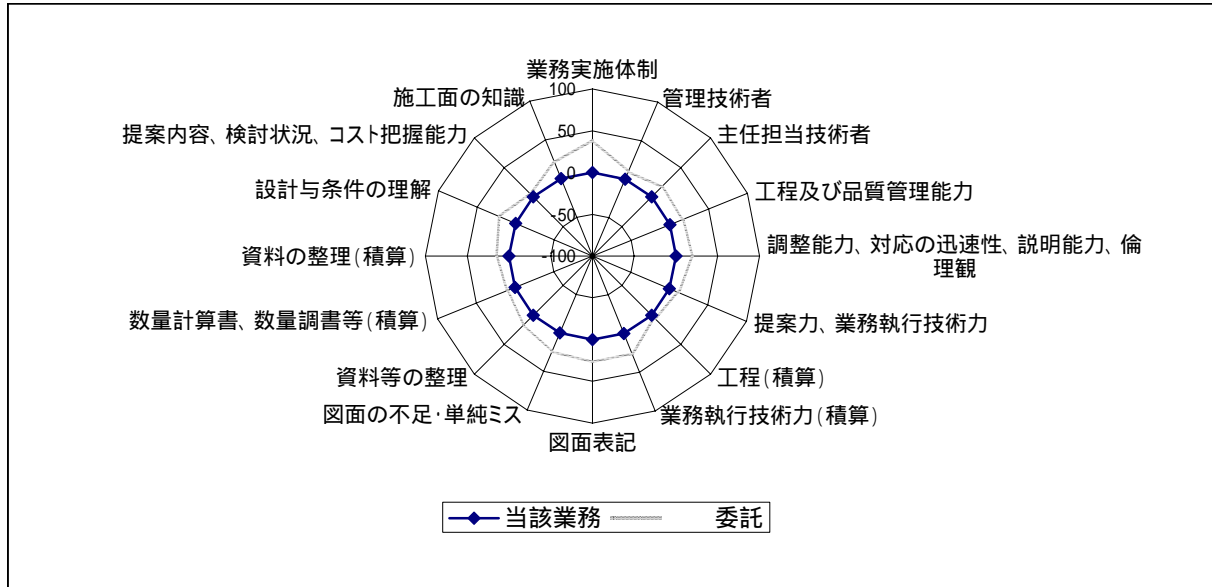
評価項目		評価の視点	指標	得点		配点
業務の実施能力	業務実施体制	十分な実施体制が整備されていたか	0	0.00	/	1.00
	管理技術者	技術者としての資質として、業務全体を把握していたか。技術者・業務の管理調整及びコスト管理、工程管理を適切に行ったか。設計と条件を的確に理解していたか。業務が円滑に遂行されたか。指示、協議事項に対する対応が迅速かつ的確だったか。創意工夫、積極的な提案、技術的検討、積極的な取組姿勢、責任感の強さが見られたか。	0	0.00	/	3.34
	主任担当技術者	技術者としての資質として、分担業務間の管理・調整、技術者・業務の管理調整を適切に行ったか。図面・資料のくい違いをなくし、適切な工程管理を行っていたか。積極的な取り組み姿勢、責任感の強さが見られたか。	0	0.00	/	2.42
業務の実施状況	工程及び品質管理能力	業務上のミス、工程に対する管理の程度	0	0.00	/	1.17
	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	設計と条件の的確な理解、円滑な業務遂行、打合せ内容の理解、記録・指示・協議事項に対する対応、成果内容の説明やプレゼンテーションの程度	0	0.00	/	2.33
	提案力、業務執行技術力	創意工夫、積極的な提案、事前準備、技術的検討、関係法規の理解、特定行政庁等との調整の程度	0	0.00	/	2.06
	工程（積算）	困難な工程に対する管理の程度	0	0.00	/	0.07
	業務執行技術力（積算）	事前準備、技術的検討、設計図書の理解、積算基準類や営繕積算システムの習熟の程度	0	0.00	/	0.27
設計図書の出来栄	図面表記	企画意図や目的が表現されているか	0	0.00	/	1.43
	図面の不足・単純ミス	十分な書き込みがなされているか、図面上のミスの程度	0	0.00	/	2.82
	資料等の整理	的確なとりまとめがなされたか。	0	0.00	/	0.95
	数量計算書、数量調書等（積算）	成果品の程度	0	0.00	/	2.61
	資料の整理（積算）	的確なとりまとめがなされたか。	0	0.00	/	1.54
設計の達成度	設計と条件の理解	設計と条件の的確な理解、困難な場合の設計と条件の整理の程度	0	0.00	/	2.34
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案、十分な技術的検討、分担業務間の調整、コスト管理及びコスト縮減や環境対策への対応の程度	0	0.00	/	9.25
	施工面の知識	施工に関する一般的な知識を備えた設計となっていたか	0	0.00	/	1.41
				0.00	/	35.00

(表の見方)

- 1) 評定点は65点を標準として加減点最大±35点で算出している。
 - 2) 加減点数の項目別の配点は、業務内容によって異なる。
 - 3) 本業務の受託者が得点した点数を項目別に指標化している。
 - 4) 指標は0を標準(加減点なし)とし、-100から+100までの整数で表示している。
- (評定点)と(65+項目別の得点の合計)は四捨五入の関係等で一致しない場合がある。

(参考)

本業務の項目別の本委託指標と 委託の各項目別平均を比較すると以下のグラフとなる。



集計表（その2：分野別集計）

採点表の種別		第2評定者	第1評定者	第1評定者 各分野						
		総合	建築			電気設備		機械設備		
			意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算	
			-1	-2	-3	-2	-3	-2	-3	
業務の実施能力	業務実施体制	0	0.0	-	-	0	-	0	-	0
	管理技術者	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	主任担当技術者	0	-	0	0	0	0	0	0	0
業務の実施状況	工程及び品質管理能力	0	-	0	0	-	0	-	0	-
	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	0	-	0	0	-	0	-	0	-
	提案力、業務執行技術力	0	-	0	0	-	0	-	0	-
	工程	-	-	-	-	0	-	0	-	0
	業務執行技術力	-	-	-	-	0	-	0	-	0
設計図書の出来栄	図面表記	0	-	0	0	-	0	-	0	-
	図面の不足・単純ミス	0	-	0	0	-	0	-	0	-
	資料等の整理	0	-	0	0	-	0	-	0	-
	数量計算書、数量調書等	-	-	-	-	0	-	0	-	0
	資料の整理	-	-	-	-	0	-	0	-	0
設計の達成度	設計と条件の理解	0	-	0	0	-	0	-	0	-
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	0	-	0	0	-	0	-	0	-
	施工面の知識	0	-	0	0	-	0	-	0	-
第1、第2評定者評定 点の計算	各分野評定点	-	-	65	65	65	65	65	65	65
	各分野比率	-	-	0.35	0.15	0.1	0.15	0.05	0.15	0.05
	×	-	-	22.75	9.75	6.5	9.75	3.25	9.75	3.25
	総合評定点、各分野評定点の合計（ ）	-	65	65.0						
	総合評定点、各分野評定点の合計の比率	-	0.2	0.8						
	×	-	13.00	52.00						
	第2評定者評定点、第1評定者評定点（ ）	65	65.0							
	第2評定者評定点、第1評定者評定点の比率	0.3	0.7							
	×	19.50	45.50							
第1、第2評定者評定点（ ）	65									

0.6

採点表の種別		第3評定者 各分野						
		建築			電気設備		機械設備	
		意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算
		-1	-1	-2	-1	-2	-1	-2
設計図書の出来栄	図面表記	0	0	-	0	-	0	-
	図面の不足・単純ミス	0	0	-	0	-	0	-
	資料等の整理	0	0	-	0	-	0	-
	数量計算書、数量調書等	-	-	0	-	0	-	0
	資料の整理	-	-	0	-	0	-	0
設計の達成度	設計と条件の理解	0	0	-	0	-	0	-
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	0	0	-	0	-	0	-
	施工面の知識	0	0	-	0	-	0	-
第3評定者評定点の計 算	各分野評定点	65	65	65	65	65	65	65
	各分野比率	0.35	0.15	0.1	0.15	0.05	0.15	0.05
	×	22.75	9.75	6.50	9.75	3.25	9.75	3.25
	総合評定点、各分野評定点の合計（ ）	65						

印は評定範囲をしめす。

0.4

に採点表の評定点を記入する。

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	実施体制	2	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に基づき、管理技術者届けが提出された。 ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されていた。 ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、適切な構成となっていた。 ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。
	0									
	管理技術者	管理技術者としての資質	5	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務全体を把握し、技術者・業務の管理調整を行った。 ・適切な工程、コスト管理を行った。 ・設計と条件を的確に理解しており、円滑な業務遂行がなされた。 ・創意工夫や積極的な取り組み姿勢が見られ、責任感の強さが感じられた。
	0									
主任担当技術者	主任担当技術者としての資質	3	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・分担業務間の調整を行った。 ・技術者、業務の管理・調整を十分に行い、図面・資料等に間違い、くいちがい等がなかった。 ・適切な工程管理を行っていた。 ・積極的な取り組み姿勢が見られ、責任感の強さが感じられた。 	
0										
小計			10						0	
業務の実施状況	工程及び品質管理能力	工程に対する管理	2	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。
	0									
	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	設計と条件の理解、打合せ時の対応、説明能力	4	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・設計と条件を的確に理解しており、円滑な業務遂行がなされた。 ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成、提出された。 ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）が、打合せ結果の内容に沿ったものであった。 ・理解しやすい資料となっており、説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
	0									
提案力、業務執行技術力	提案力、技術力	4	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 ・業務の内容・精度、作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 ・関係法規等を十分に理解していた。 	
0										
小計			10						0	
設計図書の出来栄	図面表記	目的の達成度	2	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
	0									
	図面の不足・単純ミス	十分な書き込み、ミスの有無	2	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
	0									
資料等の整理	的確なとりまとめ	1	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
0										
小計			5						0	

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計の達成度	設計と条件の理解	設計と条件の理解・整理	2	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・設計と条件を十分に理解していた。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。
				0						
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案、分担業務間の調整、コスト管理	7	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザルで提案した内容が十分設計時に検討され、成果品に反映できた。(プロポーザルの場合) ・創意工夫をこらすなどにより、積極的な提案を行っていた。(プロポーザル以外の場合) ・十分な技術的検討がなされた。 ・分担業務間の調整を行った。 ・適切なコスト管理を行った。
				0						
施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「1」とする。)	イ 基本設計のみ	施工に関する一般的な知識	1	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。
	ロ その他	施工に関する一般的な知識		評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						
小計			10						0	
合計			35						0	
評定点			合計+65					65		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第1評定者 評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
業務の実施能力	業務実施体制	6	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に基づき、管理技術者届けが提出された。 ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されていた。 ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、適切な構成となっていた。 ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。
			0							
	業務の全体把握	5	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・内部関係者への情報伝達が確認された。 ・内部関係者への情報伝達にミスがなかった。 ・内部関係者への情報伝達は迅速であった。 ・管理技術者は、業務遂行に係わるあらゆる状況を理解していた。
			0							
	技術者・業務の管理調整及びコスト管理	6	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者・業務の管理調整を十分に行い、設計と条件等と整合が取れていた。 ・技術者・業務の管理調整を十分に行い、図面、資料等に間違い、くいちがい等がなかった。 ・コスト管理が十分に行われ、工事費予定額内に納まった。 ・コスト管理が十分に行われ、コスト配分がバランスよくなされていた。
			0							
	適切な工程管理	5	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約締結後14日以内に業務工程表が提出されるなど、速やかに業務着手がなされた。 ・業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた。 ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。
			0							
	設計と条件の的確な理解、円滑な業務遂行	2	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務の一般的な特性が考慮されていた。 ・当該業務固有の特性が考慮されていた。 ・環境、文化、経済等の地域特性まで、当該業務の特性が多面的に考慮されていた。 ・当該業務の目的、内容が理解されていた。
			0							
指示、協議事項に対する対応	2	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に対して、迅速な対応がなされた。 ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 	
		0								
創意工夫、積極的な提案	5	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行の各段階で提案がなされた。 ・業務内容に合致した提案がなされた。 ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。 ・今後の検討課題が提案された。 	
		0								
事前準備、技術的検討	2	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 	
		0								
積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	2	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・管理技術者として、業務の取り組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ・打合せにおいて不明な事項については、その場で説明を求めた。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 	
		0								
合計		35						0		
評定点		合計+65					65			

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力 主任担当技術者	分担業務間の調整	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 調整の結果、期待される効果が得られた。 分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいほとんど無かった。 照査記録等を完備していた。
	技術者・業務の管理調整、図面・資料のくい違い	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> 技術者・業務の管理調整を十分に行い、設計と条件と整合が取れていた。 技術者・業務の管理調整を十分に行い、契約図書と整合が取れていた。 技術者・業務の管理調整を行った。 図面・資料等に間違い、くいちがい等が無かった。
	適切な工程管理	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> 打合せ頻度は、十分なものであった。 契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。
	積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> 主任担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 打合せにおいて不明な事項については、その場で説明を求めてきた。 業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
小計		5						0	

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第 1 評定者 評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
業務の 実施状況	工程及び品質管理能力	1.5	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・照査記録等を完備していた。 	
			0							
	工程に対する管理	1.5	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握出来る状態にあった。 	
			0							
	調整能力、 対応の迅速性、 説明能力、 倫理観	1.5	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、文化、経済等の地域特性まで、当該業務の特性が多面的に考慮されていた。 ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ・適正な維持管理に関する十分な知識を有していた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 	
			0							
		打合せ内容の理解、記録	1.5	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 ・打合せ後の対応（追加資料送付、進捗状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
				0						
		指示、協議事項 に対する対応	1.5	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に対して、迅速な対応がなされた。 ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
				0						
	内容の説明力、 プレゼンテーション能力	1.5	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・文章表現が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。 	
			0							
提案力、 業務執行技術力	創意工夫、積極 的な提案	2	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 	
			0							
		事前準備、技術 的検討	1.5	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
0										
	関係法規の理 解、特定行政庁 等との調整	1.5	評価細目フィック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法規等を十分に理解していた。 ・発注者からの指示により、関係法規の検討を行った。 ・特定行政庁との調整を積極的かつ円滑に行った。 ・特定行政庁との調整を十分に行った。 	
			0							
小計		14						0		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	図面表記	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・照査記録等を完備していた。
		十分な書き込み	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
	資料等の整理	0.5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
小計		3.5						0		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第 1 評定者 評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計と条件の理解	設計と条件の理解	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 	
	困難な場合の設計と条件の整理	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 	
設計の達成度	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		十分な技術的検討	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
		分担業務間の調整	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいほとんど無かった。 ・照査記録等を完備していた。
		コスト管理及びコスト縮減	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト（建設費、運用管理費及び解体再利用費）も含めたコスト把握力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。
		環境	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。
		その他	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。
施工面の知識	（イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「1」とする。）	イ 基本設計のみ	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
ロ その他	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」									
小計		12.5						0		
合計		35						0		
評定点		合計+65					65			

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第 1 評定者 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力 主任担当技術者	分担業務間の調整	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 調整の結果、期待される効果が得られた。 分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 照査記録等を完備していた。
	技術者・業務の管理調整、図面・資料のくい違い	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> 技術者・業務の管理調整を十分に行い、設計と条件と整合が取れていた。 技術者・業務の管理調整を十分に行い、契約図書と整合が取れていた。 技術者・業務の管理調整を行った。 図面・資料等に間違い、くいちがい等が無かった。
	適切な工程管理	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> 打合せ頻度は、十分なものであった。 契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。
	積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> 主任担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 打合せにおいて不明な事項については、その場で説明を求めてきた。 業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
小計		5						0	

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第 1 評定者 評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
業務の実施状況	工程及び品質管理能力	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・ 修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ 照査記録等を完備していた。 	
			0							
業務の実施状況	工程に対する管理	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 ・ 実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率のあるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 ・ 契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・ 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握出来る状態にあった。 	
			0							
業務の実施状況	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境、文化、経済等の地域特性まで、当該業務の特性が多面的に考慮されていた。 ・ 当該業務の目的、内容が理解されていた。 ・ 適正な維持管理に関する十分な知識を有していた。 ・ 業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 	
			0							
	調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	打合せ内容の理解、記録	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ・ 打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 ・ 打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 ・ 打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
				0						
				0						
調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	指示、協議事項に対する対応	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発注者からの指示に対して、迅速な対応がなされた。 ・ 質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・ 一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 	
			0							
調整能力、対応の迅速性、説明能力、倫理観	内容の説明力、プレゼンテーション能力	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・ 文章表現が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・ 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ・ 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。 	
			0							
業務の実施状況	提案力、業務執行技術力	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・ 事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・ 業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・ 業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 	
			0							
	提案力、業務執行技術力	事前準備、技術的検討	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・ 業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 ・ 検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ・ 採用された検討手法は、従来技術を活用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
0										
提案力、業務執行技術力	関係法規の理解、特定行政庁等との調整	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法規等を十分に理解していた。 ・ 発注者からの指示により、関係法規の検討を行った。 ・ 特定行政庁との調整を積極的かつ円滑に行った。 ・ 特定行政庁との調整を十分に行った。 	
			0							
小計		14						0		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	図面表記	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・照査記録等を完備していた。
		十分な書き込み	1	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
	資料等の整理	0.5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
小計		3.5						0		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計の達成度	設計と条件の理解	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 	
			0					<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 	
	設計と条件の理解	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 	
			0					<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書項目を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 	
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 ・照査記録等を完備していた。 	
				0				<ul style="list-style-type: none"> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト（建設費、運用管理費及び解体再利用費）も含めたコスト把握力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。 	
		十分な技術的検討	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。
				0					<ul style="list-style-type: none"> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。
		分担業務間の調整	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
				0					<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
	コスト管理及びコスト縮減	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。 	
			0					<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。 	
環境	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。 		
		0					<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。 		
施工面 の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「1」とする。)	イ 基本設計のみ	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 		
			-1				<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 		
施工面 の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「1」とする。)	ロ その他	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 		
			0				<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 		
小計		12.5			0	0			
合計		35			0	0			
評定点		合計+65			65				

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	実施体制	2	評価細目フィッ数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務を実施する上で、効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。 ・当該業務を実施する上で十分な能力を有する担当者であった。(資格者が適切に配置されていた) ・責任者が明確であり指示、伝達が円滑に遂行できるようになっていた。 ・積算システムを熟知していた。
	主任担当技術者	業務の取り組み姿勢	2	評価細目フィッ数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図記載事項に関する確認・調整が確実に行われた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 ・設計図書に対する質疑も適切であり、記録も正確に整備されている。 ・図面の修正を必要とする間違い、食い違い等が確実に修正されたか確認を迅速に行った。
		分担業務間の管理・調整	2	評価細目フィッ数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・全体業務を把握し、分担業務の調整が確実に行われた。 ・質疑、協議事項に対して、打合せ内容の関係者への連絡が徹底されていた。 ・指示・指摘に対して確実に調整が行われた。 ・業務の進捗状況が常に把握されていた。
		適切な工程管理	2	評価細目フィッ数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。 ・図面修正等に対し、適切な工程見直しが行われた。
		積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	2	評価細目フィッ数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・主任担当技術者として、業務の取り組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ・質疑、協議事項が発生した場合の打合せが速やかに行われていた。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務の進捗状況の連絡が必要な都度なされていた。
小計			10						0	

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目					
				優	やや	普通	やや	劣							
				1.0	0.5	0	-0.5	-1							
工程	困難な工程に対する管理	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握できる状態にあった。 ・工程計画は、業務内容に適合したものだっ。 ・業務を効率的に遂行するための工夫がなされていた。 ・履行期間内に、発注者・受注者相互で内容が確認された成果品が提出された。 					
			0												
			業務執行技術力	事前準備、技術的検討	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施に必要な情報が適切に収集・整理されていた。 ・見積り処理において、仕様も熟知しており、対応も適切であった ・発注者の積算基準等を熟知し、業務に対して十分な技術力を有していた。 ・設計図を十分に理解し、疑問、不整合に対しての質疑が確であり、設計にも十分反映された。 		
						0									
						設計図書理解力	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」							
0															
積算基準類習熟度	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・数量積算基準を十分理解している。 ・歩掛り、単価等の適用を十分理解している。 ・内訳書標準書式に対応した数量調書となっている。 ・各種計算書が、基準に準拠している。 						
		0													
積算システム	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・基本操作を習熟している。 ・単価を適正に入力している。 ・備考に根拠等の情報が十分に盛り込まれている。 ・代価表等が緻密に作成されている。 						
		0													
小計		5						0							
設計図書の出来栄	数量計算書、数量調書等	15	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。 					
			0												
			資料の整理	5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」						0	<ul style="list-style-type: none"> ・成果品との関連が理解できるような適切な整理がなされていた。 ・資料の取りまとめに、受注者固有の創意工夫が見られ、発注者が理解しやすかった。 ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 			
0															
小計		20						0							
合計		35						0							
評定点		合計+65					65								

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	主任担当技術者	分担業務間の調整	1	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 ・照査記録等を完備していた。 	
			2	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者・業務の管理調整を十分に行い、設計と条件と整合が取れていた。 ・技術者・業務の管理調整を十分に行い、契約図書と整合が取れていた。 ・技術者・業務の管理調整を行った。 ・図面・資料等に間違い、くいちがい等が無かった。 		
		適切な工程管理	1	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。 		
			1	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・主任担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ・打合せにおいて不明な事項については、その場で説明を求めてきた。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 		
	小計	5		0	0				

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
業務の実施状況	工程及び品質管理能力	ミスの有無	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・照査記録等を完備していた。
				0						
	工程及び品質管理能力	工程に対する管理	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握出来る状態にあった。
				0						
	調整能力、 対応の迅速性、 説明能力、 倫理観	設計と条件的 確な理解、円滑 な業務遂行	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、文化、経済等の地域特性まで、当該業務の特性が多面的に考慮されていた。 ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ・適正な維持管理に関する十分な知識を有していた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。
				0						
		打合せ内容の理 解、記録	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
				0						
		指示、協議事項 に対する対応	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に対して、迅速な対応がなされた。 ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
	0									
	内容の説明力、 プレゼンテー ション能力	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・文章表現が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。 	
			0							
提案力、 業務執行技術 力	創意工夫、積極 的な提案	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 	
			0							
	事前準備、技術 的検討	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 	
0										
関係法規の理 解、特定行政 等との調整	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法規等を十分に理解していた。 ・発注者からの指示により、関係法規の検討を行った。 ・特定行政庁との調整を積極的かつ円滑に行った。 ・特定行政庁との調整を十分に行った。 		
		0								
小計		14						0		

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優	やや	普通	やや	劣			
				1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	図面表記	目的の達成度	1	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
	0										
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	十分な書き込み	1	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・ 修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ 照査記録等を完備していた。
		0									
資料等の整理	的確なとりまとめ	0.5	0.5	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 理解しやすい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・ 契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
0											
小計			3.5						0		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計の達成度	設計と条件の理解	1	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 	
			0					<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 	
	設計と条件の理解	1	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 	
			0					<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の内容を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 	
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	3	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 ・照査記録等を完備していた。 	
				0				<ul style="list-style-type: none"> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト（建設費、運用管理費及び解体再利用費）も含めたコスト把握力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。 	
		十分な技術的検討	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。
				0					<ul style="list-style-type: none"> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。
	分担業務間の調整	1	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 	
			0					<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 	
コスト管理及びコスト縮減	3	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。 		
		0					<ul style="list-style-type: none"> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 		
環境	1	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 		
		0					<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 		
施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「1」とする。)	イ 基本設計のみ	1	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 		
			-1				<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 		
施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「1」とする。)	ロ その他	1	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 		
			0				<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 		
小計		12.5				0			
合計		35				0			
評定点		合計+65			65				

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	実施体制	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務を実施する上で、効率のあるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。 ・当該業務を実施する上で十分な能力を有する担当者であった。(資格者が適切に配置されていた) ・責任者が明確であり指示、伝達が円滑に遂行できるようになっていた。 ・積算システムを熟知していた。
	主任担当技術者	業務の取り組み姿勢	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図記載事項に関する確認・調整が確実に行われた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 ・設計図書に対する質疑も適切であり、記録も正確に整備されている。 ・図面の修正を必要とする間違い、食い違い等が確実に修正されたか確認を迅速に行った。
		分担業務間の管理・調整	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・全体業務を把握し、分担業務の調整が確実に行われた。 ・質疑、協議事項に対して、打合せ内容の関係者への連絡が徹底されていた。 ・指示・指摘に対して確実に調整が行われた。 ・業務の進捗状況が常に把握されていた。
		適切な工程管理	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。 ・図面修正等に対し、適切な工程見直しが行われた。
		積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・主任担当技術者として、業務の取り組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ・質疑、協議事項が発生した場合の打合せが速やかに行われていた。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務の進捗状況の連絡が必要な都度なされていた。
小計			10						0	

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目					
				優	やや	普通	やや	劣							
				1.0	0.5	0	-0.5	-1							
工程	困難な工程に対する管理	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握できる状態にあった。 ・工程計画は、業務内容に適合したものであった。 ・業務を効率的に遂行するための工夫がなされていた。 ・履行期間内に、発注者・受注者相互で内容が確認された成果品が提出された。 					
			0												
			業務執行技術力	事前準備、技術的検討	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施に必要な情報が適切に収集・整理されていた。 ・見積り処理において、仕様も熟知しており、対応も適切であった ・発注者の積算基準等を熟知し、業務に対して十分な技術力を有していた。 ・設計図を十分に理解し、疑問、不整合に対しての質疑が確であり、設計にも十分反映された。 		
						0									
						設計図書理解力	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」			0				
0															
積算基準類習熟度	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・数量積算基準を十分理解している。 ・歩掛り、単価等の適用を十分理解している。 ・内訳書標準書式に対応した数量調書となっている。 ・各種計算書が、基準に準拠している。 						
		0													
積算システム	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・基本操作を習熟している。 ・単価を適正に入力している。 ・備考に根拠等の情報が十分に盛り込まれている。 ・代価表等が緻密に作成されている。 						
		0													
小計		5	0					0							
設計図書の出来栄	数量計算書、数量調書等	15	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。 					
			0												
			資料の整理	5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・成果品との関連が理解できるような適切な整理がなされていた。 ・資料の取りまとめに、受注者固有の創意工夫が見られ、発注者が理解しやすかった。 ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 			
0															
小計		20	0					0							
合計		35	0					0							
評定点		合計+65					65								

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	第1評定者 評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力 主任担当技術者	分担業務間の調整	1	評価細目フィッ数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 調整の結果、期待される効果が得られた。 分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 照査記録等を完備していた。
	技術者・業務の管理調整、図面・資料のくい違い	2	評価細目フィッ数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> 技術者・業務の管理調整を十分に行い、設計と条件と整合が取れていた。 技術者・業務の管理調整を十分に行い、契約図書と整合が取れていた。 技術者・業務の管理調整を行った。 図面・資料等に間違い、くいちがい等が無かった。
	適切な工程管理	1	評価細目フィッ数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> 打合せ頻度は、十分なものであった。 契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。
	積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	1	評価細目フィッ数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> 主任担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 打合せにおいて不明な事項については、その場で説明を求めてきた。 業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
小計		5						0	

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
業務の実施状況	工程及び品質管理能力	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・照査記録等を完備していた。 	
			0							
	工程に対する管理	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握出来る状態にあった。 	
			0							
	調整能力、 対応の迅速性、 説明能力、 倫理観	設計と条件的 確な理解、円滑 な業務遂行	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、文化、経済等の地域特性まで、当該業務の特性が多面的に考慮されていた。 ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ・適正な維持管理に関する十分な知識を有していた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。
				0						
		打合せ内容の理 解、記録	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
				0						
		指示、協議事項 に対する対応	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に対して、迅速な対応がなされた。 ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
	0									
	内容の説明力、 プレゼンテー ション能力	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ・文章表現が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。 	
			0							
	提案力、 業務執行技術 力	創意工夫、積極 的な提案	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
				0						
事前準備、技術 的検討		1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の項目を満足していた。 ・採用された検討手法は、従来技術を活用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 	
	0									
関係法規の理 解、特定行政 等との調整	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法規等を十分に理解していた。 ・発注者からの指示により、関係法規の検討を行った。 ・特定行政庁との調整を積極的かつ円滑に行った。 ・特定行政庁との調整を十分に行った。 		
		0								
小計		14						0		

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優	やや	普通	やや	劣			
				1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	図面表記	目的の達成度	1	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
	0										
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	十分な書き込み	1	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・ 修補が必要なミスは、ほとんどなかった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ 照査記録等を完備していた。
		0									
資料等の整理	的確なとりまとめ	0.5	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・ 契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 		
0											
小計			3.5						0		

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優	やや	普通	やや	劣			
				1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計の達成度	設計と条件の理解	設計と条件の理解	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 	
		困難な場合の設計と条件の整理	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 	
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 	
		十分な技術的検討	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の内容を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 	
		分担業務間の調整	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 ・照査記録等を完備していた。 	
		コスト管理及びコスト縮減	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト（建設費、運用管理費及び解体再利用費）も含めたコスト把握力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。 	
		環境	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。 	
	施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「1」とする。)	イ 基本設計のみ	施工に関する一般的な知識		評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 -1					0	<ul style="list-style-type: none"> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。
		ロ その他	施工に関する一般的な知識	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
	小計			12.5						0	
合計			35						0		
評定点			合計+65					65			

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務の実施能力	業務実施体制	実施体制	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務を実施する上で、効率のあるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。 ・当該業務を実施する上で十分な能力を有する担当者であった。(資格者が適切に配置されていた) ・責任者が明確であり指示、伝達が円滑に遂行できるようになっていた。 ・積算システムを熟知していた。
	主任担当技術者	業務の取り組み姿勢	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図記載事項に関する確認・調整が確実に行われた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 ・設計図書に対する質疑も適切であり、記録も正確に整備されている。 ・図面の修正を必要とする間違い、食い違い等が確実に修正されたか確認を迅速に行った。
		分担業務間の管理・調整	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・全体業務を把握し、分担業務の調整が確実に行われた。 ・質疑、協議事項に対して、打合せ内容の関係者への連絡が徹底されていた。 ・指示・指摘に対して確実に調整が行われた。 ・業務の進捗状況が常に把握されていた。
		適切な工程管理	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ・契約図書に定められた業務成果が、履行期間内に納品された。 ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握出来る状態にあった。 ・図面修正等に対し、適切な工程見直しが行われた。
		積極的な取り組み姿勢、責任感の強さ	2	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・主任担当技術者として、業務の取り組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ・質疑、協議事項が発生した場合の打合せが速やかに行われていた。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務の進捗状況の連絡が必要な都度なされていた。
小計			10						0	

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1		
業務執行技術力	工程	困難な工程に対する管理	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況をほぼ把握できる状態にあった。 ・工程計画は、業務内容に適合したものであった。 ・業務を効率的に遂行するための工夫がなされていた。 ・履行期間内に、発注者・受注者相互で内容が確認された成果品が提出された。
	業務執行技術力	事前準備、技術的検討	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施に必要な情報が適切に収集・整理されていた。 ・見積り処理において、仕様も熟知しており、対応も適切であった ・発注者の積算基準等を熟知し、業務に対して十分な技術力を有していた。 ・設計図を十分に理解し、疑問、不整合に対しての質疑が確であり、設計にも十分反映された。
		設計図書理解力	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図を正確に読み取る能力が十分であった。 ・仕様書、標準図等の関連図書の内容も十分把握している。 ・設計図書内の不整合点を把握的的確に報告している。 ・不整合点等に対し、適切な修正案を提案している。
		積算基準類習熟度	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・数量積算基準を十分理解している。 ・歩掛り、単価等の適用を十分理解している。 ・内訳書標準書式に対応した数量調書となっている。 ・各種計算書が、基準に準拠している。
		積算システム	1	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・基本操作を習熟している。 ・単価を適正に入力している。 ・備考に根拠等の情報が十分に盛り込まれている。 ・代価表等が緻密に作成されている。
小計			5						0	
設計図書の出来栄	数量計算書、数量調書等	成果品のレベル	15	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。
	資料の整理	的確なとりまとめ	5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・成果品との関連が理解できるような適切な整理がなされていた。 ・資料の取りまとめに、受注者固有の創意工夫が見られ、発注者が理解しやすかった。 ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。
	小計			20						0
合計			35						0	
評定点			合計+65					65		

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優	やや	普通	やや	劣			
				1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	図面表記	目的の達成度	2.5	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
	0										
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	十分な書き込み	3	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・ 修補が必要なミスは、ほとんどなかった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ 照査記録等を完備していた。
		0									
資料等の整理	的確なとりまとめ	2	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 理解しやすい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・ 契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 		
0											
小計			10.5						0		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計の達成度	設計と条件の理解	3	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 				
			0						
	設計と条件の理解	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 				
			0						
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	4	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 			
				0					
		十分な技術的検討	3	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の内容を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 			
				0					
		分担業務間の調整	3	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 ・照査記録等を完備していた。 			
				0					
	コスト管理及びコスト縮減	4	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト（建設費、運用管理費及び解体再利用費）も含めたコスト把握力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。 				
			0						
環境	3	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。 					
		0							
施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「3」とする。)	イ 基本設計のみ	3	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 				
			-1						
施工面の知識	ロ その他	3	評価細目フィク数 =0 「劣」、 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 				
			0						
小計		24.5		0					
合計		35		0					
評定点		合計+65		65					

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	図面表記	2.5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	3	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・修補が必要なミスは、ほとんどなかった。 ・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・照査記録等を完備していた。
		十分な書き込み	3	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・厳しい工期、高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
	資料等の整理	2	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
小計		10.5						0		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優	やや	普通	やや	劣			
			1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計と条件の理解	設計と条件の理解	3	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 	
	困難な場合の設計と条件の整理	1.5	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 	
設計の達成度	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	4	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		十分な技術的検討	3	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の内容を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
		分担業務間の調整	3	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間(意匠、構造、設備)の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 ・照査記録等を完備していた。
		コスト管理及びコスト縮減	4	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト(建設費、運用管理費及び解体再利用費)も含めたコスト把握力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。
		環境	3	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。
		小計		24.5						0
施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。または、配点は、いずれの場合も「3」とする。)	イ 基本設計のみ	施工に関する一般的な知識	3	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 -1					0	<ul style="list-style-type: none"> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。
	ロ その他	施工に関する一般的な知識	3	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」 0					0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
合計		35						0		
評定点		合計+65					65			

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計図書 の出来栄	数量計算書、数量調書等	成果品のレベル	20	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。
	資料の整理	的確なとりまとめ		15	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					
合計			35							0
評定点			合計+65					65		

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優	やや	普通	やや	劣			
				1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	図面表記	目的の達成度	2.5	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
	0										
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	十分な書き込み	3	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・ 修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ 照査記録等を完備していた。
		0									
資料等の整理	的確なとりまとめ	2	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 理解しやすい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・ 契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 		
0											
小計			10.5						0		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計の達成度	設計と条件の理解	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 				
			0						
	設計と条件の理解	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 				
			0						
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	4	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 			
				0					
		十分な技術的検討	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の内容を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 			
				0					
		分担業務間の調整	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 ・照査記録等を完備していた。 			
				0					
	コスト管理及びコスト縮減	4	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト（建設費、運用管理費及び解体再利用費）も含めたコスト把握力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。 				
			0						
環境	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。 					
		0							
施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「3」とする。)	イ 基本設計のみ	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 				
			-1						
施工面の知識	ロ その他	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 				
			0						
小計		24.5		0					
合計		35		0					
評定点			合計+65	65					

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計図書 の出来栄	数量計算書、数量調書等	成果品のレベル	20	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。
	資料の整理	的確なとりまとめ		15	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					
合計			35							0
評定点			合計+65					65		

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優	やや	普通	やや	劣			
				1.0	0.5	0	-0.5	-1			
設計図書 の出来栄	図面表記	目的の達成度	2.5	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 業務成果は、図面等の不整合がなく、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。 	
	0										
	図面の不足・単純ミス	ミスの有無	十分な書き込み	3	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・ 修補が必要なミスは、ほとんど無かった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ 照査記録等を完備していた。
		0									
資料等の整理	的確なとりまとめ	2	評価細目件数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 理解しやすい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られる。 ・ 契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 		
0											
小計			10.5						0		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計の達成度	設計と条件の理解	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関連業務も含めた事業全体の特性が考慮されていた。 ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。 				
			0						
	設計と条件の理解	1.5	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務着手時点において、資料等の提供依頼があった。 ・業務実施の各段階で、必要な情報がリストアップされていた。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務実施の各段階で、必要な情報が自主的に収集されていた、あるいは入手困難な情報の収集に努力されていた。 				
			0						
	提案内容、検討状況、コスト把握能力	創意工夫、積極的な提案	4	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該業務で不足する課題が抽出されていた。 ・事業の早期実施に向けた一連の検討課題が提案された。 ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 			
				0					
		十分な技術的検討	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の契約図書の内容を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・採用された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。 			
				0					
		分担業務間の調整	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整を行った。 ・調整の結果、期待される効果が得られた。 ・分野間（意匠、構造、設備）の整合が取られており、くいちがいがほとんど無かった。 ・照査記録等を完備していた。 			
				0					
	コスト管理及びコスト縮減	4	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ・ライフサイクルコスト（建設費、運用管理費及び解体再利用費）も含めたコスト把握力を有していた。 ・コスト縮減に係わる提案があった。 ・ライフサイクルコスト等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。 				
			0						
環境	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン庁舎に対する積極的な提案があった。 ・グリーン庁舎計画指針等が十分に理解されていた。 ・建設リサイクルに対する積極的な提案があった。 ・建設リサイクルに対して理解を示していた。 					
		0							
施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「3」とする。)	イ 基本設計のみ	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施工に関する一般的な知識を有していた。 ・新技術等に関する知識を持ち、高度な設計を行った。 ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 				
			-1						
施工面の知識 (イ、ロのいずれかを選択する。また、配点は、いずれの場合も「3」とする。)	ロ その他	3	評価細目フィク数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ・当該地域の環境特性を把握していた。 ・施工条件を踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ・工事が周辺環境におよぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 				
			0						
小計		24.5		0					
合計		35		0					
評定点			合計+65	65					

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1		
設計図書 の出来栄	数量計算書、数量調書等	成果品のレベル	20	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					0	<ul style="list-style-type: none"> ・適用基準類では対処できない項目についてなど、検討事項の整理が適切になされていた。 ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった ・集計表等がわかりやすく編集されており、チェックが容易である。 ・資料に記載されている文章表現等が、簡潔で理解しやすいものとなっていた。
	資料の整理	的確なとりまとめ		15	評価細目チェック数 =0 「劣」 =1 「やや劣」、 =2 「普通」、 =3 「やや優」、 =4 「優」					
合計			35							0
評定点			合計+65					65		